

くれたのです。全くほっとしたのです。拾った人がよかったのです。教えてもらって拾った人にお会いしたのですが、それは奈良の市会議長の秘書の方でした。議長さんが上京されるのでいっしょに二等に乗っておられたのです。もし私が三等に乗っていたらあるいは見つからなかったかも知れないのです。私は全国大会でこのことを話したのです。「両親、われとともにあり、両親が私を守ってくださいている」といって感激の涙に打たれたのでした。議長さんは中野正夫という人でもう故人になれましたが、秘書の杉村忠治さんはいまだに親しくお付き合いしています。

二、カバン（名古屋駅）

十年ぐらい前、京都から東京に行く途中、名古屋で下車して名古屋のロータリークラブで講演することになっていたのです。新幹線で名古屋に着く少し前でした。手洗いに行つて出て来るとどうでしょう。名古屋で下車する人たちが大勢立っているのです。そのため私が坐つていたところがわからなくなつたのです。どこに坐つていたか大勢立っている中を、あちこち探したのですがわからぬのです。そのうちもう汽車が名古屋に着いてしまつたのです。私は自分の坐つていた席にカバンと包みを置いていたのですが、誰かにとられたと思つたのです。到着する間に席をはずしたのがいけなかつたのです。汽車が着くとすぐホームに出て、誰かカバンを持つている人はいないかと思つて見ていたのですが、誰も持っていません。